

2021年
7月発行



サタデースクール通信

札幌市教育委員会生涯学習推進課

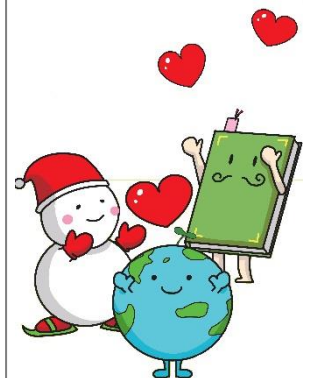
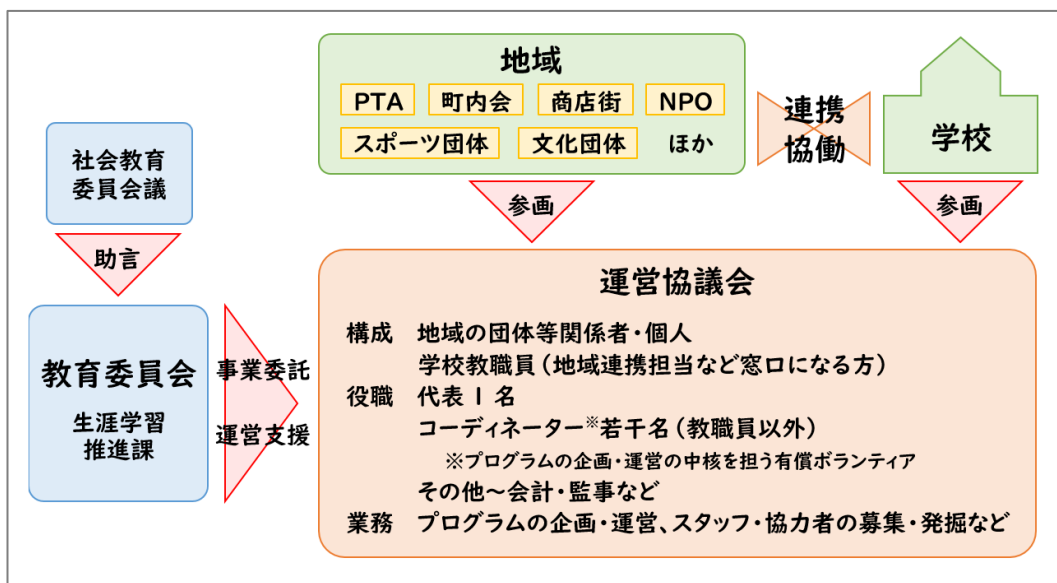
サッポロサタデースクール事業は、土曜日を始めとした休日に学びや体験の場（プログラム）を提供することにより、子どもたちが充実した休日を過ごすとともに、プログラムの企画・運営を通して、地域と学校の連携・協働の仕組みを整え、地域全体で子どもを育てる意識の向上を図ることを目指しています。

新型コロナウイルス感染症の流行により、学校行事やスポーツ・文化活動、地域交流行事は大きな影響を受けています。サタデースクールも、昨年度は活動の縮小や見合わせが多くありました。

活動の始めやすさ、継続のしやすさを踏まえ、プログラムの実施回数は年間1回からとし、年度の途中からでも契約できるようになりました。このたび、第4波の到来により見合わせていたプログラムの実施ができるようになりましたので、活動の開始・再開のご相談をお待ちしています。

今回のサタデースクール通信では、事業のしくみやプログラムの条件などについて改めてご紹介します。

*** 基本のしくみ ***



サタデースクールは、教育委員会から学校とその周辺地域の団体や住民などで構成する「運営協議会」にプログラムの企画・運営を委託します。受託した運営協議会には、年間のプログラム実施回数に応じた運営費を支払います。

運営協議会は、多様な経験や技能を持つ人材や自然環境等の地域資源を生かしたり、民間企業等の協力を得るなどし、子どもたちを対象にした学び・体験プログラムを企画します。このほか、開催案内・参加者の募集、必要な物品等の調達、講師の依頼・調整、当日スタッフの確保や役割分担、会場設営などの事前準備、当日の進行、実施報告の作成・提出など、一連の作業を担います。

運営協議会には、代表者1名とコーディネーター若干名を置いていただきます。コーディネーターは、一連の作業進行や連絡調整の核として活動する地域の方であり、活動時間に応じた謝金が運営費の中から支払われます。



*** プログラムについて ***

<p>主催者</p>	<p>運営協議会 他の運営協議会や地域団体との共催も可能です。</p>		
<p>参加対象</p>	<p>運営協議会を構成する学校の児童生徒 内容により、兄弟姉妹や保護者、地域住民の参加も可能です。</p>		
<p>実施日時</p>	<p>土曜日、日曜日、祝日、長期休業期間（夏休み・冬休みなど） 1プログラムあたりの実施時間は2時間程度を目安にします。</p>		
<p>実施回数</p>	<p>年間1回以上 上限回数はありませんが、委託料の上限額は10回分です。</p>		
<p>内容</p>	<p>下記4種の活動分野のいずれかに分類できるもの 複数の分野にまたがっても構いません。原則として参加費は無料とするほか、内容によっては、オンラインの活用も可能です。</p>		
<p>活動分野1. 学習支援</p> <p>学ぶ楽しさや学ぶ意義を感じ、学習意欲の向上や学習習慣の形成を図る</p> <p>勉強会 英会話教室 科学実験教室 習字教室 プログラミング教室 など</p> 			
<p>活動分野2. 体験活動</p> <p>文化・芸術や自然体験、ボランティア活動、職業体験などの多様な活動を通して、社会への興味関心を高める</p> <p>華道・茶道体験 職業体験 異文化体験 ツリーイング体験 和楽器演奏体験 など</p> 			
<p>活動分野3. 体力・健康づくり</p> <p>運動・スポーツの楽しさや、食事・睡眠・病気の予防などの大切さを知り、体力の向上や健康の保持・増進を図る</p> <p>走り方教室 ウィンタースポーツ教室 パラスポーツ教室 食育教室 カゼ予防教室 など</p> 			
<p>活動分野4. 地域交流</p> <p>幅広い年代層との様々な交流や地域資源の理解を通して、地域への愛着や絆を深める</p> <p>昔遊び体験 世代交流運動会 防災訓練 まち歩き・探検 地域の企業訪問 など</p> 			
<p>講師等</p>	<p>運営協議会構成員、できること・得意なことを教えることができる地域住民・団体・企業 など 内容により進行役のみでの実施も可能です。</p>		
<p>スタッフ</p>	<p>運営協議会構成員・構成団体関係者のほか、地域住民・団体からボランティアを募集 全体の進行役は原則として運営協議会で担います（共催の場合は共催団体と調整）。</p>		



*** プログラムの企画で困ったときに ***

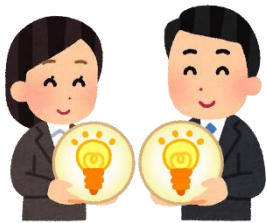
プログラムの企画・運営の委託契約では、年間のプログラム実施回数に
 応じた運営費を支払いますので、原則として予定した回数を実施する
 ことが必要です。コロナ禍では、緊急事態宣言等の発令により教育委員会が
 プログラムの中止を指示することがあり、契約変更に対応していますが、
 この取扱は特例的なものです。



講師の都合や、学校でのインフルエンザ等の流行により、予定していた日程でプログラムが実施
 できなくなった際は、日程を変更して実施します。予定していた内容での実施が難しい場合は、内容も
 変更することができます。

内容の変更が必要になった場合、企画をイチから考え直すのはとても大変です。サタデースクール
 では、地域や学校の特色などを生かし、運営協議会構成員や地域の人材等を活用したプログラムを念
 頭に置いています。民間企業等が提供するプログラムの活用も可能です。最近では、社会貢献活動
 の一環として、無料または低廉な費用で施設見学や出前授業などを行う企業も多くあります。

生涯学習推進課では、さっぽろまちづくりパートナー企業が学校向けに提供
 しているプログラムの情報をいただいていますので、もしもの時にはご相談く
 ださい。もちろん、年間計画の段階で企業等提供プログラムの実施を予定する
 こともできます。



このような企業提供プログラムも、実施予定日の1か月程度前までに申し込
 む必要があるものが多くなっています。不測の事態に備え、余裕を持ったスケ
 ジュールで年間計画を立てることが大切です。

*** プログラムでケガや食中毒が起きたときに ***

プログラムの実施に伴う参加者、講師、コーディネーターほか運営協議会の方々、地域のボランテ
 ィアスタッフの方々の万一の事故等に備え、教育委員会で傷害保険と賠償責任保険に加入しています。
 詳しくは、生涯学習推進課（211-3872）までお問い合わせください。

* 傷害保険（ケガの補償）

プログラム実施中 または けが等をした方の自宅
 とプログラム実施会場の往復中の事故
 ※往復中に寄り道をした場合、宿泊を伴うプログラ
 ムは補償対象外です。

補償内容

- 入院日額 1名につき 3,000 円（180 日限度）
- 通院日額 1名につき 2,000 円（90 日限度）
- 死亡・後遺障害 200 万円

* 賠償責任保険（食中毒などの補償）

料理教室などのプログラムで製造した食
 品に起因して生じた対人事故

補償内容

- 1名 1億円（限度）
- 1事故 3億円（限度）



サッポロサタデースクールのご相談・お問い合わせは
札幌市教育委員会生涯学習推進課 まで
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目S T V北2条ビル4階
 電話 011-211-3872 F A X 011-211-3873

サタデースクール
 H Pはこちらから

